

## 第2章 望ましい環境像と環境目標

---

# 1 望ましい環境像

「望ましい環境像」とは、久喜市環境基本条例の基本理念を実現するため“目指すべき未来の本市の環境の姿”です。

本計画では、“水と緑が豊かで美しい農的・田園的な風景・環境”の中に、“住みやすいまちが調和”した本市の環境を、誇りとして守り・育て、未来の子どもたちに引き継いでいくことを表すものとして、「水と緑と街が調和した豊かな環境を守り・育て、未来につなぐまち『久喜』」を望ましい環境像として掲げ、施策を推進してきました。

自然環境と都市環境の調和した住みよいまちづくりを、行政だけでなく市民・事業者のみなさんの参加のもと進めていくというメッセージが込められたこの望ましい環境像を引き継ぎ、実現を目指していきます。

**水と緑と街が調和した  
豊かな環境を守り・育て、未来につなぐまち  
『久喜』**

将来の久喜市のイメージ

環境目標が決まり次第、イメージ図追加

## 2 環境目標

望ましい環境像を達成するために、5つの分野における環境目標とそれが実現した10年後の久喜市のイメージを描きました。

これらの将来イメージを「望ましい環境像」を実現するための環境目標として位置づけ、市民・事業者・市の協働のもとで、将来イメージの実現に向けた取り組みを進めていきます。

なお、望ましい環境像や環境目標を実現するために実施する環境施策は、同時に市の福祉の向上や経済活性化、快適なまちづくりといった環境以外の分野にも好影響を与えることが予想されます。そこで、環境施策の実施が本市の社会・経済などの複数の異なる課題の解決と相互に関連していることを示すため、それぞれの環境目標に関連するSDGsを表記しました。

標記したSDGsは、本計画の推進によって達成されるゴールであると同時に、第2次久喜市総合振興計画をはじめとする本市の各種計画の推進によって達成されるゴールでもあることを認識しながら、施策の展開を図っていくものとします。

## 環境目標 1

# 脱炭素な暮らしを育むまち







### 2034（令和12）年の将来イメージ

家庭や事業所においては、無駄を排除し、無理なく続けられる省エネ行動の実践が当たり前となっています。省エネ型の機器や次世代自動車<sup>\*1</sup>の導入が進むなど、脱炭素に向けた取り組みが着実に進み、温室効果ガスの排出も減少しています。

家庭や地域での再生可能エネルギー設備などの導入、利用が拡大しているほか、他の自治体や事業者との連携による再生可能エネルギーの調達が進んでいます。

また、エネルギー創出に加え断熱性などの省エネルギー性能を追求したエネルギー収支がプラスマイナス「ゼロ」の住宅や工場、ビルの建設が進むなど、まちの脱炭素化が進んでいます。

気候変動リスクに適応する取り組みも進められ、市民の防災意識が高まるとともに、豪雨などによる自然災害への対策や熱中症を予防する取り組みが浸透したまちになっています。

関連する SDGs	他分野との関連
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	<ul style="list-style-type: none"><li>・住居の快適性の向上</li><li>・歩行・自転車利用の増加による健康の維持・増進</li><li>・環境の保全、資源循環に寄与する新たなビジネス</li><li>・省エネ等による事業活動のコスト改善</li><li>・ICT（情報通信技術）の活用による、テレワークなどの働き方改革</li><li>・エネルギーの自立による地域の防災・減災力の強化</li></ul>
 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	
 11 住み続けられる まちづくりを	
 12 つくる責任 つかう責任	
 13 気候変動に 具体的な対策を	
 15 陸の豊かさも 守ろう	

**基本目標に合わせた写真やイラストを追加**

※1 電気自動車（EV）、プラグイン・ハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池車（FCV）で、走行時に排出ガスを出さない「ゼロエミッション車」（ZEV: Zero Emission Vehicle)のこと。

## 環境目標2

## 豊かな自然と人がともに生きるまち







## 2034（令和12）年の将来イメージ

生物多様性に対する市民の意識の高まりとともに、河川や用排水路、池沼、湿地などの水辺、農地、屋敷林、河畔砂丘などの多様なみどりに対する市民や事業者による保全の機運も高まり、地域住民による保全活動、維持管理活動が広がりを見せています。

絶滅に瀕している生きものの生息域が保全され、多様な生きものが生息・生育できる環境に復元しつつあります。

緑地をはじめ住宅地からも雨水が浸透され、地下水が涵養(かんよう)されています。

まちなかでは、本多静六博士の理念を具現化した公園の整備や住宅地の緑化が進むなど、みどりが豊かに感じられるとともに、みどりや水と気軽にふれあえる機会や場も広がり、暮らしの中で自然の豊かさを実感できるまちになっています。

関連する SDGs	他分野との関連
     	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の価値や魅力の向上</li> <li>・自然とのふれあいによる健康の維持・増進</li> <li>・環境保全型農業による農産物の付加価値向上</li> <li>・農産物の地産地消</li> <li>・グリーンインフラ<sup>※1</sup>による地域の防災・減災力の強化</li> </ul>

※1 自然環境が有する多様な機能を積極的に活用して、地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等の多様な効果を得ようとするもの。

基本目標に合わせた写真やイラストを追加

本多静六博士に関するコラムを追加

## 環境目標3

## 資源循環に配慮した暮らしを育むまち





## 2034（令和12）年の将来イメージ

必要な時に必要な量だけ商品を購入する、捨てる前に必要としている人に譲るなど、環境に配慮した消費行動が定着しています。

家庭では水切り等の徹底や食品ロスを減らす取り組み等が広がり、家庭から出される燃やせるごみが減っています。

使い捨てのプラスチック等の使用が抑制され、紙類等資源物の分別も徹底されており、市民1人が1日当たりに排出するごみの量が少ないまちになっています。

また、循環経済への移行が進み、ごみとして捨てるものでも資源として再利用する仕組みが整い、焼却処理されたり、最終処分されるごみの量が減っています。

関連する SDGs	他分野との関連
   	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康を含む様々な生活の質（QOL）の向上</li> <li>・環境の保全、資源循環に寄与する新たなビジネス</li> <li>・安心・安全に暮らせる居住環境</li> <li>・資源回収等による市民活動の活性化</li> <li>・余剰食材のフードバンクでの活用</li> </ul>

基本目標に合わせた写真やイラストを追加

## 環境目標4






# 健康で安全・安心に暮らせるまち

### 2034（令和12）年の将来イメージ

大気や河川、騒音、放射線などに対する調査・監視・指導の継続により、環境基準を達成し、都市・生活型公害への苦情が減っています。

ポイ捨てや不法投棄によるごみが少なくなり、美しいまちが維持され、人々が愛着を感じるみどり、眺望等の景観資源が維持されています。

また、国や県と連携し、短時間の集中豪雨などによる浸水被害や土砂災害の防止対策の強化が図られ、災害に強く安全・安心に暮らせるまちになっています。

関連する SDGs	他分野との関連
    	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の価値や魅力の向上</li><li>・健康を含む様々な生活の質（QOL）の向上</li><li>・環境の保全、資源循環に寄与する新たなビジネス</li><li>・安全・安心に暮らせる居住環境</li><li>・グリーンインフラによる地域の防災・減災力の強化</li></ul>

基本目標に合わせた写真やイラストを追加



## 環境目標5




## みんなで取り組む環境づくりのまち

## 2034（令和12）年の将来イメージ

市民一人ひとりが環境問題について学び、考え、環境にやさしい行動を積極的に実践する機会が身近にあるまちになっています。

家庭や学校、職場など様々な場面で、省エネ行動やごみ減量の取り組みを行うことが、市民や事業者に定着しています。

多様な自然と歴史・文化にあふれた久喜を、より豊かにして次世代へ引き継ぐため、市民、事業者、市がそれぞれの役割を果たしつつ、互いの特性を生かして連携・協力して、様々な環境保全活動に取り組む、環境にやさしいまちになっています。

関連する SDGs	他分野との関連
  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の価値や魅力の向上</li> <li>・健康を含む様々な生活の質（QOL）の向上</li> <li>・協働の推進、地域コミュニティの活性化</li> <li>・活動を通じた健康の維持・増進</li> <li>・社会教育、生涯学習の活性化</li> </ul>

基本目標に合わせた写真やイラストを追加

